

歌津町平成の森 ババドール5丁目のレディース(50代)

10月20日に起こったことは、コミュニティーセンターの敷地を探していた私たちに一種のきっかけを与えてくれ、仮設住宅に住まう方々が外にでて人々と集い交流する必要性や重要性を確信させてくれるものとなった。そして、この出来事が3/11プロジェクトにとって最初の一步を踏み出す機会となった。

仮設住宅に住み始めてからご近所なったという数人の中年女性が、ベンチに腰掛けては世間話に花を咲かせ、時には現状を変えようと熱く燃えている光景を目にすると、いつのまにかそうした状況が、多様な世代が集うコミュニティーセンター建設への足がかりになるのではないかと思えてくる。

10月20日、歌津町「平成の森」仮設住宅地(約200戸の仮設住宅ユニットが接地されている)を訪れた際、東京からコミュニティー活性化を目的としてNPO団体と共にこの地を訪れていた友人の渡邊喜代美さんと遭遇した。彼女は、殺風景に居並ぶ仮設住宅間の一つの通りに置かれたテーブルを囲む女性達の輪に混じっていた。そして、私たちを見つめるなりそこから立ち上がって紹介をしてくれた(写真では、彼女らはすでに通りに面する4畳半の居間に移り暖をとっている)。みんなで使えるようにと何気なく置かれたベンチが、今ではこの無機的な箱の仮設住宅の日常に彩りを与える欠かせない存在となっている。

彼らは、こうした屋外での団欒をこれから迎える冬にも続けたいのだと熱く語る。そのために、彼らはこの空間を覆う冷たい雨や雪を防ぐための屋根や暖かく座り続けられるような場づくりを私たちに依頼した。

これが、私たちの初めてのそして小さなコミュニティーセンタープロジェクトとなる。今後11月6日までの二週間の中で、設計、材料を選定・入手し、建設する予定だ。最小限の費用と、ボランティアの方々の手助け、そして目の前の熱心な住民の方々と共に成されるだろう。

最後に、仮設住宅に暮らされている方々、町役場の方々、あるいは資金援助を申し入れて頂ける方々に向けて、私たちの目標がより大きなコミュニティーセンターの建設へ向けられていることをお伝えします。現在、平成の森を現場としてこの目標を達成するべく次の数ヶ月活動する予定です。

11月6日にはささやかなお祝いイベントを考えておりますので、是非ご参加ください。

乾杯！

神田駿/ MIT日本 3/11 イニシアティブチーム

連絡先：kanda@mit.edu

URL：<http://japan3-11.mit.edu/>